

# 高品質特殊鶏卵生産技術確立試験

埴和靖俊\*・御幡 寿

## 要 約

中小農家へ付加価値の高い特殊鶏卵を普及させるため、アローカナ交雑鶏と高産卵鳥骨鶏について卵殻色並びに産卵率を中心に改良した。

その結果、アローカナ交雑鶏の成鶏生存率は、H系が96.6%、AC系100%と良い成績を示したが、鳥骨鶏は83.5%と前年に比べ6.7%も悪かった。また、産卵率もアローカナ交雑鶏は、H系が64.9%、AC系が80.1%と高い成績を維持できたが、高産卵鳥骨鶏では30.0%と前年より8.1%も悪く育成管理での影響に左右された成績になった。

キーワード：コウヒンシツランヨウケイ、アローカナ、ウロッケイ

## 緒 言

近年、消費者ニーズの多様化、高度化に対応するため、生産者は卵の質的向上とともに、一般的な白玉卵とは違う様々な特殊鶏卵の生産を望んでいる。

そのため、当室保有の青色卵殻鶏や特殊鶏を利用した特殊鶏卵生産を確立し、中小養鶏農家への普及を図るため改良しながら、初生ひなを配布している。

## 材料及び方法

### 1. 供試鶏

アローカナ交雑鶏（青色卵殻鶏）

2系統 雄50羽 雌240羽

高産卵鳥骨鶏 雄30羽 雌100羽

### 2. 調査期間

平成12年4月～13年3月

### 3. 飼育形態

餌付けから28日齢までは電熱立体育雛機で、その後、試験終了までは雌雄別々に開放鶏舎でケージ群飼いと、120日齢時に個別ケージ飼いととした。

### 4. 給与飼料

餌付けから28日齢までは幼雛育成用飼料（C P 20%，ME 2900kcal/kg），70日齢まで中雛育成用飼料（C P 18%，ME 2800 kcal/kg），140日齢まで大雛育成用飼料（C P 15%，ME 2750kcal/kg），140日以降は成鶏用飼料（C P 17%，ME 2850kcal/kg）をそれぞれ不断給餌した。

### 5. 調査項目

性能調査、産卵率、卵重、卵殻色、卵質等について行った。卵殻の色調[L値（明度）、a値（赤色度）、b値（黄色度）]は色差計（ミノルタCR300）で、測定した。

## 結果及び考察

系統別成績は、表1のとおりである。アローカナ交雑鶏AC系については、白色レグホーンを交配したため、産卵率の向上が図られた。しかし、鳥骨鶏U系において、幼雛期の飼養管理失宜の影響（デビーク等）により昨年に比べ生体重・生存率・50%産卵日齢等すべて低い成績になった。

なお、表2のとおり羽数は少ないがグリーンエッグ生産農家に初生ヒナで払い下げた。

\*現 茨城県農業総合センター農業大学校

表1 系統別成績

系統	餌付け羽数	育成率	生存率	50%産卵日齢	産卵率	300日齢時	
			151~300日		151~300日	体重 Kg	卵重 g
H	157	93.6	96.6	165	64.9	1.7	54.7
AC	116	96.5	100	160	80.1	1.65	57.5
U	123	82.1	83.5	226	30.0	0.92	36.7

表2 グリーンエッグ鶏ひな払い下げ実績 (1セット100羽)

市町村名	北茨城市	下妻市	鉾田町	大洋村	計
セット数	1	3	3	1	8